

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/10/30号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

中東情勢緊迫化も供給障害発生せず

NY原油先物相場は、1バレル=85ドル水準まで軟化する展開になった。中東情勢は引き続き不安定だが、実際の原油供給障害は発生せず、調整売り優勢の展開になった。供給リスクより需要リスクに対する警戒感が強く、上値を抑えられている。一方で、在庫は引き続きタイトであり、本格的に値を崩すまでの勢いは見られなかった。乱高下が繰り返される不安定な地合が続いている。

イスラエルとイスラム組織ハマスの激しい戦闘が続いている。イスラエルはガザ地区の地上作戦を強化しており、多数の死者・負傷者が報告されている。このため、原油供給環境が不安定化するリスクが下値を支えている。しかし、10月27日時点では実際の原油供給の落ち込みなどは確認できず、地政学リスクのみで原油相場を買い進んでいくような動きは見られなかった。この結果、むしろ中東情勢の不安定化による世界経済の減速懸念が重視され、調整売り優勢の展開になった。世界的な株安傾向も上値圧迫要因になっている。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (10月20日時点) は、原油が前週比137万バレル増、ガソリンが16万バレル増、石油精製品が169万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

地政学リスクのサポートあるが、供給障害なければボックス

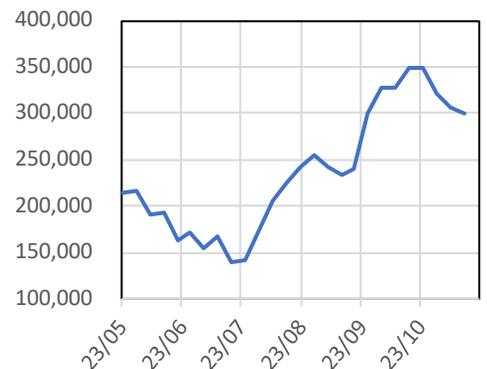
引き続き中東情勢が注目されるが、地政学リスクのみで急伸する可能性は低い。原油市場の焦点は「供給リスク」ではなく「供給障害」の有無であり、特に主要産油国であるイランの動向が注目されている。イスラエルはガザ地区で本格的な地上戦を展開する見通しだが、その際にイランがどのような対応を講じるのかが焦点になる。

仮にイランがハマス支援の姿勢を鮮明にし、イスラエルを支援する欧米諸国が対イラン制裁などに踏み切ると、イラン産原油の供給減少が国際原油需給を引き締める可能性が高まる。その際は、改めて90ドル台乗せを試そう。また可能性は低いが、イランがホルムズ海峡の封鎖といった強硬な動きを見せると、中東からアジア地区に向かう原油供給が壊滅的な被害を受ける展開もあり得る。

一方、イランが直接的なハマス支援を見送るのであれば、原油供給体制には殆ど影響が生じることはなく、原油相場に対する影響も限定されよう。漠然とした供給不安に留まる一方、リスクオフの地合が続くと、このまま80ドル台で売買が交錯する展開が続く可能性が高い。ファンドも地政学リスクのみで買い進むような動きは見せていない。低在庫環境が続いていることもあり、80ドル台前半だと物色妙味が認められるが、明確なトレンド形成は難しい。

10月31日～11月1日には米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催される。今会合では政策金利の変更は想定されていないが、今後の金融政策環境を巡る思惑からドルや株価がどのような反応を見せるのかにも注目したい。

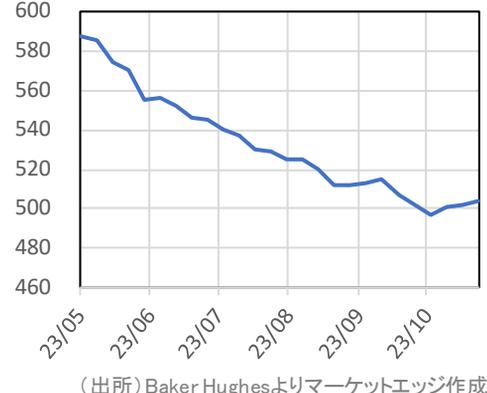
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

